・地震・雷・火事・おやじ!?

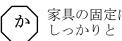
6月29日午後6時から約1時間半程度、白石区民センターにおいて、 地震防災マップの説明会が開催され、各地区の防災関係者約40名が参加 しました。

説明会では、神戸市の大震災状況の映像を鑑賞したのち、札幌市地震災害想定委員会委員長として「第3次地震被害想定」の取りまとめと「地震防災マップ」の作成に携わった、鏡味洋史氏(北大名誉教授)による、札幌市の地震傾向についてのかなり専門的で詳しい説明がありました。

今回は、昨年9月に想定して防災計画を見直した時に作成されたマップであり、1番規模の大きい直下型地震 震度7強に対する防災マップです。市内を7万5千の網目に区分し、3つの伏在活動断層が動いた時の震度をひとつづつ算出したもので、かなり信ぴょう性の高いものとなっています。

地震は家にいる時に起きるとは限らないので、マップをじっくり見て、 自宅や周辺の揺れ状況を確認し、職場、買い物先などの状況を日頃から確 認することが大切であると強く感じた会議でした。

地震に対する心構え







| |協力して避難・救助 | 避難場所運営



来る前に家族で 話す防災会議



けがした人への応急 手当家族みんなで救 命講習







白石区全域の防災訓練を実施します!

白石区防災訓練(白石区主催)は、毎年9月1日、白石区内の各地区を持ち回りで実施していますが、 今年は白石東地区の平和通小学校において実施されます。

"午前9時15分頃、石狩支庁中部を震源とするM6.5の地震が発生し、札幌市内では震度6強が観測された"という想定です。

「救出・救護応急手当訓練」や「水防訓練」のほか、「てんぷら油の燃焼・消火訓練」や「放水訓練」の見学などもありますので、皆さん参加・見学しませんか!

取材担当:岩井

まちづくり協議会にあらたな仲間が!



これまで、「白石・みんなであそぼう! at白石南公園」(今年も7月29日に開催!)や「白石・雪であそぼう! at大谷地小学校」など、さまざまな事業にお手伝いいただいていた、「東白石中学校」、「東白石中学校PTA」、「ラポール南郷の杜管理組合」の3団体が、今年度からまちづくり協議会に加入されました。今後ともよろしくお願いします。

取材スタッフ 岩井(町連)・五十嵐(育成)・長井(体振) 松原(単町) 小笠原(単町)・大瀬戸(単町)・出淵(大谷地小 PTA) スタッフ



お問い合わせ 「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通 18 丁目南 2-6 白石東まちづくりセンター内 TEL011-862-0813 FAX011-862-8694 (休館: 土・日・祝日)

地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成 17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります!



ごみ有料化スタート!

札幌市では、2008年3月スリムシティを目指す基本方針に基づき、2009年7月1日に「ゴミ有料化」をスタートしましたが、人口190万人国内最大の家庭ゴミ有料都市となるだけに、これまでに家計への負担増、排出マナーの徹底、新ルールの説明など、市内全地域の理解と協力を求める取り組みが展開されてきました。特に、わかりやすいゴミカレンダーの全戸配布、広報による周知、2000回以上に及ぶ住民説明会など、新ルールの解説、啓蒙がなされました。

≪住民説明会≫

スライド 15 分、改正点口頭説明 20 分、質疑応答 15 分 白石東地区でも 3 月から 4 月の間に 5 回、白石東会館等にお いて白石清掃事務所による新ごみ排出ルールの説明会があり、

町内会ごと2~3回参加し、基礎知識の習得に努めました。

≪ごみステーションパトロール≫

新ルールが適用された7月1日から10日間、ごみパト隊1名~2名がごみステーションに立ち、次々に排出される住民に対し、分別が正しくなされているか、排出品と排出日が一致しているかなどを点検し、正しい排出の指導がなされました。



生ゴミ減量策に取り組んでいる「みつば町内会」

みつば町内会では、2008年から全町内会住民に呼びかけ、生ゴミ減量に取り組んでいます。当初は少人数でしたが、徐々に参加者が増え、現在では30名が「みつばエコグループ」として参加しています。

環境衛生部長さんは、"今年はルール改正の年でもあるので、今後も拡大していきたい" と語っており、意気込みを感じました。

コンポストでゴミを減量することは、個々で早くから採用されていることを新聞等で 知っていましたが、白石東地区で、しかも身近なところで実践され、効果を上げている 町内会がありますので、興味のある方は足を運んではいかがでしょうか?

取材担当 松原

白石東公園リニューアルオープン!

白石東公園 (平和通16丁目北) は、開園 (平成7年3月) 以来、地域の方々や公園周辺にある白石かがやき園 (知的障がい者施設)、ぴあとぴあ17 (身体障がい者施設)、こころのリカバリー総合支援センター(精神科医療施設)、白石うさこ保育園などたくさんの人たちに利用されてきましたが、「年齢や障がいの有無にかかわらず、共に楽しく利用出来る公園」として、平成19年度より市の環境局と地域の皆さんや福祉施設、保育園の方々で計画、部分再整備され、平成20年度末に完成しました。

これを記念して6月19日(金)に、晴天のもと白石東公園において、宮川白石区長をはじめ関係部局の方々をご来賓に招き、記念式典を盛大に催しました。

式典は板垣町連会長の主催者挨拶で始まり、来賓の方々や参加された皆さんで花壇に色とりどりの花を植え、また平和通小学校3年生の児童の皆さん(社会科見学・体験)で、植樹された木々に木製の樹名板を一生懸命取り付けました。

ステージ上では、白石うさこ保育園の園児の皆さんの元気でかわいらしい『ぶちあわせ太鼓』・ぴあとぴあ17の皆さんによる『エンゲ体操』・平和通小の小原君とおばあ様による日本舞踊・白石かがやき園の皆さんによる力強い『かがやき太鼓』・こころのリカバリー総合支援センターの皆さんによる軽音楽のバンド演奏が披露され、式典を盛り上げてくれました。昼食には地域の方々の心のこもった豚汁をいただき、園児の皆さんや参加されていた皆さんも、お腹が満たされてあたたかい式典となりました。 **取材担当:大瀬戸・出溯**





しろっぴー登場!? 道塚会長…お疲れ様です。

白石かがやき園ってどんなとこ?

白石かがやき園は、知的な障がいを持つ方達が日々集い、生産・創作・運動・文化・余暇などの多様な活動を展開している通所施設です。

施設の敷地は以前、札幌養護学校があった土地です。学校の移転に伴う跡地の利用について、札幌市は当初、 全面公園化する計画でした。しかし、障がいの重い人達が利用できる施設を学校跡地に建てて欲しいとの運動が 札幌市や市議会を動かし、多くの人達の思いが結実して平成6年に定員40名でできた施設です。

現在は定員も55名となり、障害者自立支援に基づく生活介護事業所として運営されております。利用されている方は10代から70代と幅広く、個性豊かな方達が、生産・創作活動において、ゆとりある自主生産(さをり織り、キャンドル作成)と社会との接点のある受託作業(空き缶プレス、ペットボトルリサイクル、白石東公園清掃等)により、生活リズムの安定を図りながら「はたらく」ことの楽しさ、責任感・達成感を体得することを目標に活動しています。



住所: 平和通 16 丁目北

スポーツアラカルト!

第18回 白石東地区マラソン大会は、数日前からの雨がたたり中止といたしました。各町内会より72名ものエントリーがありました。町内会長さんはじめ関係者の皆様に選手の取り纏めなどでお手数をかけ感謝申し上げます。

トピックスを1つ…

陸上日本選手権女子100m障害で見事優勝、世界選手権参加B標準 記録に100分の1届かなかった、19歳の女性。白石東地区の出身者 です。世界選手権で記録更新を期待したい。ガンバレあすか!

第16回 白石東地区グランドゴルフを楽しむ会が、6月 27日 (土)に白石南公園で開催され、10町内会78名の参加がありました。84歳の男性が最高齢者で、80歳代の方が6人も参加されておりました。男性の部では83歳の方が優勝、76歳の方が準優勝という成績で、オールドパワーを遺憾なく発揮されておりました。

ただ、コース内の草が伸びていて、無理に打った玉がストレートボールとなり、何人かの下肢にぶつかったりのアクシデントがありました。 今後はこのようなトラブルのないよう注意をしたいと思います。青天のもと参加された皆さん!!大変ご苦労さまでした。 **取材担当:長井**

今後の予定

8月23日

白石東地区少年野球大会

9月23日

白石東地区少年野球新人戦大会

9月27日

白石区民ふれあい

健康マラソン大会

10月3日

白石東地区グランドゴルフを

楽しむ会

10月25日

白石東地区卓球大会

11月23日

白石区民卓球大会

子どもハイキング(北方自然教育園&果樹園)

今年の「子どもハイキング」は北方自然教育園と果樹園のサクランボ狩りを実施することになりました。当日は好天に恵まれ、白石東地区の小学生94名が参加しました。8時30分には白石東会館に子供たちが元気に集合し、大型バス2台で出発しました。

北方自然教育園は、円山球場の3倍以上の広さがあり、学習館をはじめ北 国の自然環境のなかで、体験的に学習できる場所です。生態展示室では様々 な生き物を観察することができ、飼育室ではたくさんのコオロギが飼育され ていました。昆虫が脱皮している姿に子どもたちは、目を輝かせて見入って いました。奥の自然観察林には遊歩道もあり、オリエンテーリングを楽しみ ました。

午後は、すぐ隣の果樹園でサクランボ狩りを楽しみました。美味しそうな サクランボだけを木からとって食べる爽快感は、時間を忘れ、食べた量も忘 れるほどでした。

北方自然教育園は、稲作体験や収穫体験もできる場所ですので、時間があればもっともっと子どもたちに色々な体験をさせてあげたいものだと思いながら、帰途につきました。

10月18日(日)には、文化部でマジック大会を行いますので、みんなの参加をお待ちしています。

青少年育成委員会 東海林





